

## スマホの使い方を若者から真摯な態度で教わろう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。先週は、情報通信技術(ICT, Information and Communications Technology)が発達して、Apple Watchなどのウェアラブル・iPhoneなどのスマホ・iPadなどのタブレットが、パソコン以上に使われる時代に入ってきた。それらはいろいろな場面で使うので、我々国民は何歳になっても使いこなすことが必要であるというお話をしました。では、その使い方をどのように学んだらよいかについて最後にお話したかったのですが、時間がなくてできませんでした。そこで今日は、ウェアラブルなどの使い方を学ぶ方法を初めに考えてみます。
2. これらの使い方を一番よく知っているのは、中学生や高校生や大学生です。彼らは毎日使っていますから、詳しいです。特に大学生は夜寝るときも手から離せないくらい盛んに使っていますので、詳しい人が多いです。ですから、近所に中学生・高校生・大学生がいらっしゃったら、あるいは同年代のお子さんやお孫さんがいらっしゃったら、教わったほうが良いと思います。「ちょっと教えてね」と頼むと、「こうだよ」と教えてくれると思います。こうして10代や20代の方から素直な心で教わるのが一番早いですから、<sup>こけん</sup>活券に関わるとか言わずに教えてもらっていただきたいと思います。
3. 一方で、10代と20代の方々もいずれは自分たちもそういう立場になると考え、大人の方、特に60・70・80・90歳代の方々に教えることは無上の喜びと思い、親切・丁寧に教えていただきたいです。このようなボランティア活動を大いにやっていただけると、ものごとは一気に解決します。
4. 今後は、お医者さんにかかる場合も遠隔診療になったり、お薬をもらう場合もスマホでいただいたりするようになると思います。スマホなどを使いこなせると、そのようなときに役に立ちますので、ぜひよろしくお願ひします。みんなで助け合う、特に若い方がこれ程お役に立つ時代はあまりありませんので、不得意な方は自由自在に扱える若い方から教わっていただきたいと思います。
5. さて、今日は2月最後の放送ですので、本の紹介をさせていただきます。それは、以前にも紹介した古典中の古典である「論語」です。論語で一番有名な一つは、次の章です。まず、「子曰、吾十有五而志于学(子曰わく、<sup>しい</sup>吾十有五にして<sup>われじゅうゆうご</sup>学に<sup>がく</sup>志<sup>こころざ</sup>す)」で、意味は「孔子が言いました。『私は15歳で、学問に志しました。』」となります。次は、「三十而立(三十にして立つ)」で、意味

は「30歳で、思想も、見識も確立しました。」です。そのあとは、「四十而不惑(四十にして惑<sup>まど</sup>わず)」、「五十而知天命(五十にして天命を知る)」、「六十而耳順(六十にして耳<sup>したが</sup>順う)」、「七十而従心所欲、不踰矩(七十にして心<sup>ほつ</sup>の欲する所に従えども、矩<sup>のり</sup>を踰<sup>こ</sup>えず)」と続きます。この意味は、「40歳で心の惑いもなくなって、50歳で天から与えられた(自分が何のために生きるのかという)使命を自覚しました。60歳で何を聞いても耳にさからうことがなくなり、素直な心で聞くことができるようになりました。70歳になると、自分の欲望のままに振舞っても、その行動が道徳からはずれることはありませんでした。」です。「吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順う。七十にして心の欲する所に従えども、矩を踰えず」とは、このような孔子の教えです。

6. ただ、今は時代が全然違いますよね。70歳からでも勉強ですので、「吾七十にして学に志す」が大事です。スマホなどの使い方がわからなかったら、講習を受けるのもよいですが、10代や20代の方に教わることもよいと思います。つまり、「七十にして学に志す。八十にして立つ。九十にして惑わず。百にして天命を知る」のように、もう1回やり直していただければありがたいです。私も含めて、みんなで心掛けると、素晴らしい世の中になると思います。

7. それから、孔子の教えの中には「吾日三省吾身(吾、日に三たび吾が身を省みる)。爲人謀而忠乎(人の為<sup>はか</sup>に謀<sup>はか</sup>りて忠ならざるか)。與朋友交而不信乎(朋友と交わりて信ならざるか)。傳不習乎(習わざるを伝<sup>つと</sup>うるか)」というものがあります。これは、「私は、1日に何回も自分のことについて反省します。一つは、他人のために相談に乗ったとき、本当に誠意を持って考えてやったかどうかということです。二つは、友達との交際において、信義を尽くさないことはなかったかどうかということです。三つは、まだ自分の知識として完全に消化されていない事柄を、他人に教え伝えはしなかったかどうかということです。」の意味になります。孔子は、このようなことを心掛けると、非常にいい人生を送れるよと教えてくださっています。

8. さらに、「不患人之不己知、患不知人也(人の己<sup>おのれ</sup>を知らざるを患<sup>うれ</sup>えず、人を知らざることを患うるなり)」ということも教えてくださっています。これは、「他人が、こちらの真価を知ってくれなくても、気にかける必要はない。それよりも、自分が、他人の真価を認めないことを心すべきである。」という意味です。また、論語の最初のところには、「人不知而不愠、不亦君子乎(人知らずして<sup>いきどお</sup>愠<sup>ま</sup>らず、亦た君子ならずや)」という教えがあります。この意味は、「(いくら勉強しても)自分を認めてくれない人が世間にはいるものである。そういう人がいたとしても、怨まない。それでこそ、学問と徳、学徳とも優れた君子ではないか。」です。

9. こんなことを言っただきしているのが「論語」、孔子の教えですので、ぜひ皆さんも「論語」の勉強をしていただきたいと思います。ただ、一番大事なのはスマホなどの勉強です。これらの使い方をマスターして70・80・90・100歳代を過ぎすと、本当に世の中が明るく、楽しくなります。よろしく願いいたします。